

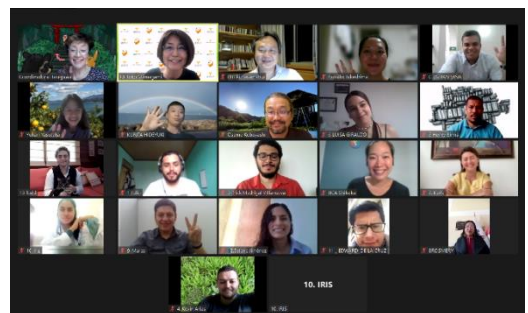
【愛媛の特性を生かした充実のプログラム！】

～愛媛大学主催の JICA オンライン研修が始まります！～

独立行政法人国際協力機構（JICA）四国センターは、愛媛大学の協力の下、12月2日から12月15日までの約2週間、遠隔研修として中南米の農業・観光分野の研修員26名を対象に「青年研修^(注)・中南米（混成）/アグリビジネス・アグリツーリズム」コースを実施します。全プログラム、スペイン語通訳も同席しますので、ぜひ取材にご参加ください。

この研修では、中南米11か国の研修員と双方向をオンラインで繋ぎ、講義、オンライン施設見学、質疑応答、ディスカッションを通じて、愛媛県各地を題材に6次産業化やSDGsに配慮した街づくりに焦点を当て、実践的な理解を深めていくことを目的としています。

また本研修は来日研修の予定から、新型コロナウイルス感染症の蔓延により遠隔研修となり、2か年継続で行われております。日本のみならず各国でも農業や観光に大きな影響が出ていますが、本研修を通し、互いにアイデアを出しながら自国へ還元していくことが期待されます。



夏に行われた本年度1回目の研修の様子
 中南米から多くの研修員が参加。活発な意見交換を行いました。

<愛媛大学研修コースリーダーより、研修実施によせて>

本研修は昨年度に引き続き、今年度は2回にわたって実施される予定のもので、今回は2年間の総まとめとして開講します。愛媛の特産である、みかんの共選の取組・経験を中心にアグリビジネスに焦点を置いており、遠く中南米の国々でも実践的に取り入れられる内容となっています。また農村ツーリズムの先駆地である内子町の知見を取り入れ、町並みや村並みを見て楽しみつつ、各研修員がそれぞれの町や村で生かしていければと考えています。

研修員が来日できないことは残念ですが、オンデマンドの映像教材に加え、双方向セッションを通じて私たち研究者や内子町の実践者の方々との議論、交流をふんだんに盛り込みました。愛媛の地域特性から研修員それぞれが学びを深め、自国に還元していけることを期待しています。

【愛媛大学 国際連携推進機構 准教授 島上宗子】

研修概要

- 研修名：青年研修「中南米（混成）/アグリビジネス・アグリツーリズム」コース
- 対象者(26名)：現地で農林水産物の生産・加工・流通・販売の改善に関わる若手行政官や普及員農協職員など
- 研修期間：2021年12月2日(木)～12月15日(水) ※日程の詳細は次頁をご参照ください

(注)：青年研修は開発途上国の青年層を対象に、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する事業です。

《研修プログラム一覧》

※中南米地域との時差により、深夜帯での実施となります。

日	時間	内容
12月2日 (木)	(オンデマンド)	オリエンテーション、研修説明
12月3日 (金)	22:00~24:00	アイスブレーキング、研修説明
	(オンデマンド)	①講義：日本のアグリツーリズムの概要、取り組み事例の位置づけ
12月6日 (月)	(オンデマンド)	②視察1：内子の町並み保存、ツーリズム、地域づくりの取り組み
12月7日 (火)	22:00~24:00	①・②の振り返り
12月8日 (水)	(オンデマンド)	③視察2：地域の魅力発見のカギは「よそ者目線」にあり
12月9日 (木)	(オンデマンド)	④視察3：若者が暮らしやすい田舎をつくる
12月10日 (金)	22:00~24:00	③・④の振り返り
12月13日 (月)	22:00~24:00	日本の農村の魅力を海外に伝える
12月14日 (火)	(オンデマンド)	互いのプランの共有、評価
	22:00~23:00	研修評価会
12月15日 (水)	22:00~24:00	アクションプランの発表

★オンラインでの研修員へのインタビューも可能ですので、ぜひ取材をご検討ください。

★講師や関係者によって取材ができない場合もあります。また、日程は予告なく変更なる場合がありますので、取材をご検討いただける場合は、必ず事前にご連絡ください。

※撮影、放映の際には肖像権へのご配慮をよろしくお願いします。

※全行程、通訳（スペイン語・日本語）が同行いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国センター 業務課（小栗）

TEL 087-821-8827 E-mail:Oguri.Daisuke@jica.go.jp